「はじめる」から「かなえる」へ。福島県では、震災から10年を機に「ふくしまから はじめよう」からのバトンを渡す、新スローガン「ひとつ、ひとつ、実現する ふくしま」を策定しました。復興に向けて歩んできた「これまで」と、新しい未来に繋げていく「これから」と、県民のみなさんひとりひとりの「今」を重ねたメッセージです。

令和５年度 福島県当初予算　１兆 3,382 億円（うち復興・創生分　2,582 億円）

# 福島の挑戦「シンカ」予算
## 令和５年度 福島県当初予算の概要について

福島県 財政課

令和５年度は、総合計画の２年目として施策の成果や課題を踏まえ、ひとつひとつの挑戦をさらに「シンカ」させていくことが重要です。

福島県が目指す将来の姿の実現に向け、特に重要な行政課題を８つの重点プロジェクトとして着実に取り組んでいきます。

当初予算の総額は１兆3,382億円で、このうち2,582億円が復興と地方創生を進めるために充てられます。

ホームページで詳しい資料を公開しています。 福島県財政課 検索

### 歳入と歳出の状況

**【歳入】**　図表１

総額１兆3,382億円　（億円）

| | |
|---|---|
| 県税 | 2,409 |
| 地方交付税等 | 2,288 |
| （うち実質的な地方交付税） | (2,078) |
| 国庫支出金 | 2,773 |
| 繰入金 | 1,346 |
| 県債（臨財債除く） | 1,338 |
| その他 | 3,229 |

**【歳出】**　図表２

総額１兆3,382億円　（億円）

| | |
|---|---|
| 人件費 | 2,448 |
| 扶助費 | 243 |
| 公債費 | 930 |
| 投資的経費 | 2,218 |
| 一般行政経費 | 7,544 |

※項目ごとに表示単位未満を四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

歳入のうち、県税収入は、前年度比で18億円増の2,409億円、地方交付税等は、前年度比68億円減の2,288億円となっています。

また、「原子力災害等復興基金」などの各種基金を有効に活用し、必要な財源の確保に努めました（図表１）。

歳出については、根拠に基づく政策立案の考え方を基本として徹底した事務事業の見直しに努め、予算編成を行いました（図表２）。

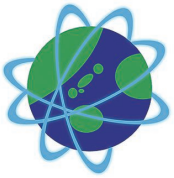
## ８つの重点プロジェクト

令和５年度当初予算で取り組む事業の一部をご紹介します。

### 【「復興・再生」の加速】

#### ①避難地域等復興加速化プロジェクト
【42事業　601億円】

◆福島国際研究教育機構連携推進事業
（企画調整部）…【0.3億円】



福島国際研究教育機構（F-REI）を核とした広域ネットワーク形成の促進や国・市町村などと連携した機構周辺の環境整備の推進に取り組みます。

◆イノベーション創出プラットフォーム事業
Fukushima Tech Create
（商工労働部）…【3.6億円】

Fukushima Tech Create

福島イノベーション・コースト構想の対象地域が「あらゆるチャレンジが可能な地域」となるよう、プロジェクトの掘り起こしやビジネスプランの磨き上げ、専門家による助言、指導などにより支援します。

#### ②人・きずなづくりプロジェクト
【40事業　46億円】

◆ものづくり産業人材確保支援事業
（商工労働部）…【0.5億円】

高校生を対象に製造業の技術・業務の理解を図ることやものづくりの技術体験などを行うことにより、製造業への就職とともに県内企業の人材確保を促進します。

◆避難地域への移住促進事業
（避難地域復興局）…【17.6億円】

移住関心層への情報発信や移住受入体制の強化、移住支援金の給付などを行うことにより、避難地域12市町村への移住を促進します。

#### ③安全・安心な暮らしプロジェクト
【116事業　723億円】

◆そなえるふくしま防災事業
（危機管理部）…【0.4億円】

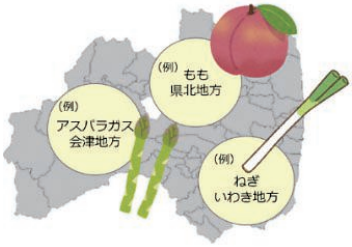
東日本大震災の経験や教訓を県民に伝え、風化防止につなげるとともに、防災意識の高揚を図ることで、安心して住み暮らせる地域づくりを進めます。

◆地域医療情報ネットワーク拡充支援事業
（保健福祉部）…【1.7億円】

キビタン健康ネットの県民・医療機関などへ向けた普及推進の取り組みを支援するとともに、診療情報の提供を行う医療機関に対して支援を行います。

#### ④産業推進・なりわい再生プロジェクト
【66事業　679億円】

◆福島ならでは農林水産物ブランド力強化推進事業
（農林水産部）…【0.2億円】




県産農林水産物における精緻な市場調査などの結果を基に、生産から消費までの一体的な計画を策定・実践することにより、ブランド力の強化を推進します。

◆県産品振興戦略実践プロジェクト
（観光交流局）…【0.7億円】

県産品の情報発信を行うとともに、風評払拭や海外での販路拡大を図るほか、県産酒のブランド力向上の取り組みを行います。

## 【「地方創生」の推進】

### ⑤輝く人づくりプロジェクト
【108事業　257億円】

◆ふくしまを創る若者のプラットフォーム構築事業
（教育庁）…【0.4億円】

各県立高校の地域課題探究活動に地域人材や大学生などの若者が参画できる仕組みを構築し、活動の推進を図るとともに、若年層の県内還流および定住を促進します。

◆ふくしまメタボ改善チャレンジ事業
（保健福祉部）…【1.0億円】

働き盛り・子育て世代の県民をターゲットに、市町村や事業所などと連携を図りながら、健康行動の実践を促す参加・体験型のチャレンジ事業を実施します。

### ⑥豊かなまちづくりプロジェクト
【40事業　140億円】

◆みんなで実現、ゼロカーボン福島推進事業
（生活環境部）…【2.1億円】

カーボンニュートラルの実現に向けて、ロードマップの普及啓発を行うとともに、各部門の削減目標に向けた実践的な取り組みを行います。

◆なりすまし詐欺被害防止事業
（警察本部）…【0.4億円】

なりすまし詐欺被害防止に特化したアプリを導入し、タイムリーな情報発信などをするほか、テレビCM放送による広報、固定電話対策などを実施します。

### ⑦しごとづくりプロジェクト
【52事業　1,015億円】

◆企業の魅力「気づき・発信・体験」プロジェクト
（商工労働部）…【2.9億円】

企業の情報発信力の強化を図るとともに、小中学生や保護者などを対象にさまざまな職業を体験する機会などを提供して県内企業の認知度を高めるなど、人材確保につなげます。

◆ふくしま中小企業者等 DX 伴走支援事業
（商工労働部）…【0.9億円】

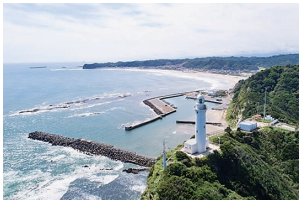
企業の経営課題に応じた DX に知見を有する専門家をマッチングして伴走支援を行うことで、企業の DX を推進し、生産性の向上を図ります。

### ⑧魅力発信・交流促進プロジェクト
【38事業　39億円】

◆「転職なきふくしまぐらし。」推進事業
（企画調整部）…【1.7億円】

県のテレワーク環境の魅力発信とともに、テレワークと暮らしの体験機会の提供やテレワーク導入企業の県内への拠点整備などを支援し、「転職なき移住」を推進します。

◆ホープツーリズム拡充等浜通り観光支援事業
（観光交流局）…【2.3億円】



一般観光をフックとした新たな個人向けホープツーリズムや、ブルーツーリズムによる誘客を目指すことにより、浜通りにおける関係人口の拡大と観光需要の創出を図ります。